

事業区分	新規	事業名	新規職員採用試験（テストセンター方式）導入事業											
所管課	人事課		(総務部)											
			宇陀市一般会計予算											
事業の目的	コロナ禍の状況の中で、受験者を1か所に集めての採用試験の実施は避けたいと考え、民間事業者により全国各地に設置した試験会場のパソコンを利用し、一定の期間内に、1次試験（教養試験）を受験できるシステムを導入することにより、幅広く良い人材を確保することができる。			区分	No.	区分名								
				款	2	総務費								
				項	1	総務管理費								
				目	1	一般管理費								
				事業	1	本庁一般管理費								
根拠条例等														
総合計画	基本計画 6-2-2 効率的な業務運営体制の構築													
R3年度事業の概要	新規職員採用試験委託料（テストセンター方式） $5,500円 \times 250名 \times 消費税 = 1,512,500円$			財源の内訳（単位：千円）										
				分担金 負担金										
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	宇陀市職員採用試験の1次試験において、令和2年度は約100名を超える方が受験しており、会場は受験者で過密状態となっている。			使用料 手数料										
	<table border="1"> <tr> <td>テストセンター会場</td> <td>全国47都道府県 約220カ所</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">導入の効果</td> <td>・全国各地で受験可能</td> </tr> <tr> <td>・受験者は希望の時間に希望の会場で受験可能</td> </tr> <tr> <td>・良い人材の確保が可能</td> </tr> <tr> <td>・新型コロナウイルス感染症対策</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・人事課の業務の軽減化・効率化</td> </tr> </table>			テストセンター会場	全国47都道府県 約220カ所	導入の効果	・全国各地で受験可能	・受験者は希望の時間に希望の会場で受験可能	・良い人材の確保が可能	・新型コロナウイルス感染症対策		・人事課の業務の軽減化・効率化	国費	
	テストセンター会場	全国47都道府県 約220カ所												
	導入の効果	・全国各地で受験可能												
		・受験者は希望の時間に希望の会場で受験可能												
		・良い人材の確保が可能												
		・新型コロナウイルス感染症対策												
		・人事課の業務の軽減化・効率化												
				県費										
				市債										
			その他											
			一般財源	1,513										
			R3予算額	1,513										
			R2 当初予算額											
			R2 現計予算額											
			増減額	1,513										
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況  備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進									
決算額又は決算見込額（千円）														
従事職員数【人工】														
人件費（人工×8,000千円）														
総事業費：人件費含む（千円）														
活動指標名														
活動指標の算式														
活動指標の実績(見込)			単位	単位										
単位当たりコスト（円）														

事業区分	継続	事業名	議事録作成支援システム活用事業			
所管課	総務課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	会議録作成に係る時間をAI音声認識システムの活用で、業務の効率化を図る。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	1	一般管理費	
事業	1	本庁一般管理費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上					
R3年度事業の概要	議事録作成支援システム委託料 1,056千円		財源の内訳 (単位：千円)			
	会議録作成に係る時間を短縮することで、職員の働き方改革を推進する。		分担金 負担金			
使用料 手数料						
事業の 目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)			国 費			
			県 費			
			市 債			
			その他			
			一般財源	1,056		
			R3予算額	1,056		
			R2 当初予算額	1,559		
R2 現計予算額	1,559					
増減額	▲ 503					
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)			924			
従事職員数【人工】			0.01			
人件費 (人工×8,000千円)			80			
総事業費：人件費含む (千円)			1,004			
活動指標名		利用回数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績(見込)		単位	日	240	単位	回
単位当たりコスト (円)				4,183		
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進				

事業区分	継続	事業名	総合案内業務委託事業			
所管課	総務課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	総合案内における住民対応の均一化により住民サービスの向上を図る。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	1	一般管理費	
事業	1	本庁一般管理費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上					
R3年度事業の概要	総合案内業務委託料 3,281千円		財源の内訳 (単位：千円)			
	総合案内における住民対応の均一化により住民サービスの向上を図るとともに、職員の事務従事に係る負担軽減を図る。		分担金 負担金			
使用料 手数料						
事業の 目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)			国 費			
			県 費			
			市 債			
			その他			
			一般財源	3,281		
			R3予算額	3,281		
			R2 当初予算額	3,281		
R2 現計予算額	3,281					
増減額						
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)		3,108	3,281			
従事職員数【人工】		0.01	0.01			
人件費 (人工×8,000千円)		80	80			
総事業費：人件費含む (千円)		3,188	3,361			
活動指標名		配置日数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績(見込)		182	単位	日		備考 〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進
単位当たりコスト (円)		17,516	単位	日		
		243	単位	日		

事業区分	継続	事業名	ふるさと応援寄附事業																																				
所管課	総務課		(総務部)																																				
事業の目的			ふるさと寄附制度は、宇陀市の発展を応援したいという皆様の善意によるもので、寄附金は「ふるさと応援基金」に積立て、その寄付金を財源として事業に活用する。																																				
根拠条例等			宇陀市ふるさと寄附条例																																				
総合計画			基本計画 6-2-3 健全な財政運営																																				
R3年度事業の概要	【歳入】寄附金 150,000千円				財源の内訳 (単位：千円)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位：千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>719</td> </tr> <tr> <td>業務代行・ポータルサイト委託料</td> <td>74,119</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75,000</td> </tr> </tbody> </table>				(単位：千円)		消耗品費	150	通信運搬費	12	手数料	719	業務代行・ポータルサイト委託料	74,119	合計	75,000	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金 負担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料 手数料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国 費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市 債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>75,000</td> </tr> <tr> <td>R3予算額</td> <td>75,000</td> </tr> <tr> <td>R2 当初予算額</td> <td>39,023</td> </tr> <tr> <td>R2 現計予算額</td> <td>100,773</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>35,977</td> </tr> </tbody> </table>		分担金 負担金		使用料 手数料		国 費		県 費		市 債		その他		一般財源	75,000	R3予算額	75,000	R2 当初予算額	39,023	R2 現計予算額	100,773	増減額
(単位：千円)																																							
消耗品費	150																																						
通信運搬費	12																																						
手数料	719																																						
業務代行・ポータルサイト委託料	74,119																																						
合計	75,000																																						
分担金 負担金																																							
使用料 手数料																																							
国 費																																							
県 費																																							
市 債																																							
その他																																							
一般財源	75,000																																						
R3予算額	75,000																																						
R2 当初予算額	39,023																																						
R2 現計予算額	100,773																																						
増減額	35,977																																						
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	(単位：円)																																						
	年度	寄付 件数	寄附額	事業充当額	基 金																																		
					現在高	利子																																	
	H20～H26	100	51,470,312	△ 7,500,000	44,526,630 (H26年度末)	(556,318)																																	
	H27	494	31,290,155		75,950,730	(133,945)																																	
	H28	249	33,515,155		109,633,512	(167,627)																																	
	H29	833	32,492,630	△ 11,036,148	131,308,660	(218,666)																																	
H30	1,912	66,474,710	△ 9,754,011	188,097,904	(68,545)																																		
R1	5,118	110,896,285	△ 22,123,793	276,870,396	(49,252)																																		
事業のコスト		令和元年度(実績)		令和2年度(見込)																																			
決算額又は決算見込額 (千円)		39,023		90,000																																			
従事職員数【人工】		0.30		0.30																																			
人件費 (人工×8,000千円)		2,400		2,400																																			
総事業費：人件費含む (千円)		41,423		92,400																																			
活動指標名		寄附金受入額																																					
活動指標の算式		-																																					
活動指標の実績(見込)		110,896	単位 千円	170,000	単位 千円																																		
単位当たりコスト (円)		374		544																																			
特定財源の状況																																							
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進																																					

令和 3 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市長とまちかどトーク				
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	広聴業務は行政に対して市民が直接、意見や要望を伝えることができる市民参画の手法の1つであり、同時に、市民ニーズを的確に把握し、市民参画の推進を図る。		区分	No.	区分名		
			款	2	総務費		
			項	1	総務管理費		
			目	2	文書広報費		
事業	1	文書広報費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 6-1-2 市民の協働と参画の推進						
R3年度事業の概要	市内事業所及び各種団体を募集し、意見交換会を開催する。 【開催内容】 各種団体（10人から20人程度 60分以内）。市民参加型行政を目指し、テーマを決めて市長とフリーディスカッション。 【出席職員】○市長 【スタッフ】○秘書広報情報課 ・チラシ印刷代 40,000円 ・デザイン代 10,000円		財源の内訳 (単位：千円)				
			分担金負担金				
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	市政に対する市民の意見等を継続的に聴取し、市政への市民参加と開かれた市政の実現に向けて、市内事業所、各種団体との意見交換会を行う。		使用料手数料				
			国費				
			県費				
			市債				
			その他	50			
			一般財源				
			R3予算額	50			
			R2当初予算額	0			
R2現計予算額	50						
増減額	50						
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	50	50					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費 (人工×8,000千円)	800	800					
総事業費：人件費含む (千円)	850	850					
活動指標名	開催回数						
活動指標の算式	総事業費/開催回数						
活動指標の実績(見込)	9	単位	回	20	単位	回	
単位当たりコスト (円)	94,444		42,500		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり	

令和 3 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	AI自動応答サービス運用事業		
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	AIチャットボットシステムを活用して、24時間365日、利用者からの「よくある質問」に自動応答するサービスを実施。住民サービスの向上と職員の業務効率化を図る。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	2	文書広報費
事業	1	文書広報費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 6-1-1 積極的な情報発信				
R3年度事業の概要	<p>■AIチャットボットシステムによる「よくある質問、自動応答サービス」を実施。</p> <p>システムは、市ホームページからも利用することができ、日々、利用状況を確認しながら、随時情報の追加更新を行う。</p> <p>【運用保守委託料】 AI自動応答サービス システム運用委託料 80,000円×1.1×12か月=1,056千円</p>			財源の内訳 (単位：千円)	
	<p>（実績）2019年10月1日運用開始 利用件数7,649件/2020年12月末 （目標）対前年比10%増 （課題） 引き続き、内容の拡充と利用増進を図り、住民サービスの向上に努める。</p>			分担金負担金	
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)				使用料手数料	
				国費	
				県費	
				市債	
				その他	1,056
				一般財源	
				R3予算額	1,056
				R2当初予算額	1,056
			R2現計予算額	1,056	
			増減額	0	
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額 (千円)			1,056		
従事職員数【人工】			0.50		
人件費 (人工×8,000千円)			4,000		
総事業費：人件費含む (千円)			5,056		
活動指標名		利用件数			
活動指標の算式		総事業費/利用件数			
活動指標の実績(見込)		単位	4,500	単位 件	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり
単位当たりコスト (円)			1,124		

事業区分	継続	事業名	宇陀市PR番組放送委託事業			
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	本市の自然の豊かさ、くらしの情報、魅力や観光情報の番組を自主放送で制作し、その素材を活用してテレビ放送やSNS等による発信を行うことにより、宇陀市の魅力をPRし、市の知名度アップ、観光振興等につなげる。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	2	文書広報費	
事業	1	文書広報費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 6-1-2 市民の協働と参画の推進					
R3年度事業の概要	奈良テレビ放送番組「ゆうドキッ！」内コーナー「いきいきまちだより」（毎週金曜日放送）で放送する。 県内各市は奈良テレビで制作するが、当市では自主放送により動画制作し、奈良テレビ番組で放映する。 ■動画 1～2回（60秒/回）/月 ■静止画2回（30秒/回）/月 ■データ放送 月2回更新 ■Youtube 1～2回/月更新 委託料（放送用加工料及び電波料）840千円		財源の内訳（単位：千円）			
事業の目標・成果 （これまでの成果、今後の見通し）	【目標】 本市の住み良さや豊かさ、観光情報等を積極的にPRすることにより交流人口の増加が期待できる。また、当市の魅力を市内外の方に認識していただく事により、定住先を探している方に選択する際の参考としていただく。		分担金 負担金			
			使用料 手数料			
			国 費			
			県 費			
			市 債			
			その他			
			一般財源	840		
			R3予算額	840		
R2 当初予算額	840					
R2 現計予算額	840					
増減額						
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額（千円）	840	840				
従事職員数【人工】	0.10	0.10				
人件費（人工×8,000千円）	800	800				
総事業費：人件費含む（千円）	1,640	1,640				
活動指標名	放映回数					
活動指標の算式	動画・静止画・データ放送・Youtube					
活動指標の実績(見込)	96	単位	回	96	単位	回
単位当たりコスト（円）	17,083		17,083			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 1.市民と行政の協働のまちづくり					

令和 3 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市イメージアップ推進事業		
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	人口減少、少子高齢化社会において中山間地域である宇陀市は、その影響を顕著に受けている。新市長就任すると同時に宇陀市の持っているポテンシャルを大きく内外にPRして宇陀市を訪れたい、住みたい、関係したいという人を増やすために複数のPRソフト事業を推進し、宇陀市のイメージをアップする。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	2	文書広報費
事業	3	宇陀市イメージアップ推進事業			
根拠条例等	宇陀市イメージアップ推進事業計画				
総合計画	基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり				
R3年度事業の概要	①「宇陀市PRブース」におけるPR事業 冬の登山客が多く訪れる1月～2月において、榛原駅南口でパンフ等の配布や特産物を販売し、観光、移住定住等のPRを行う。 ・事業費 100千円 ②庁舎玄関前ミニコンサート開催 春・秋2回 市民が訪れる開かれた庁舎を目指して、年に2回クラシックやジャズ等のミニコンサートを開催。 ・事業費 350千円 ③ゴマちゃんプロジェクト 少年アシベ・ゴマちゃん作者、森下裕美さんとのコラボ事業 ・事業費 4,550千円		財源の内訳 (単位：千円)		
	①奈良交通と共同して、宇陀市を訪れた登山客にPRを行うことにより、ファンを増やし、ふるさと納税の増加による自主財源確保はもちろん、移住までつなげる。 ②堅いイメージの庁舎を訪れやすい庁舎として市民と職員の間を構築し、職員のボランティアなども活用して、「頑張っている市役所」を演出する。また、まち協などとコラボして飲食ブース等も出店し、みんなが待ち遠しいイベントとなるようつなげる。 ③ゴマちゃんプロジェクト ・車いすサッカードキュメント映画上映会 ・ゴマちゃんミュージアム開催 ・ゴマちゃんを活用した子育て支援（母子手帳等にキャラクター印刷等） ゴマちゃん等を活用し、移住定住につなげる。		分担金負担金 使用料手数料 国費 県費 市債 その他 4,717 一般財源 283 R3予算額 5,000 R2当初予算額 0 R2現計予算額 217 増減額 5,000		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)		217		ふるさと応援基金繰入金 4,717千円	
従事職員数【人工】		0.20			
人件費 (人工×8,000千円)		0			
総事業費：人件費含む (千円)		217			
活動指標名	お土産テント パンフレット配布数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)		単位	650	単位	人
単位当たりコスト (円)		334		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 2. 移住定住の促進強化	



令和 3 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市誕生15周年記念事業				
所管課	企画課	(企画財政部)			宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市は、平成18年1月1日に大宇陀町、菟田野町、榛原町、室生村の合併により市制を施行し、令和3年1月1日に15周年を迎えた。 15周年を機にこれまでを振り返り、15周年を市民と祝うとともに、これから未来に向けた新たな出発点とし、宇陀市誕生15周年イベントを開催することで、多くの市民の参加を募り、「宇陀はひとつ」一人ひとりの思いが大きな輪になって、地域がますます元気となるよう事業を展開する。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	1	本庁企画費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 6-1-2 市民の協働と参画の推進						
R3年度事業の概要	宇陀市誕生15周年を祝う記念イベントを開催し、市民をはじめ多くの方々の参加を促し、宇陀市のPRを行う。  記念イベント開催委託料 4,420,000円				財源の内訳 (単位：千円)		
	宇陀市誕生15周年のPRやイベント周知を図ることにより、市民の15周年を祝う気運を醸成する。				分担金 負担金		
使用料 手数料							
事業の 目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					国 費		
					県 費		
					市 債		
					その他	4,420	
					一般財源		
					R3予算額	4,420	
					R2 当初予算額		
					R2 現計予算額		
増減額	4,420						
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額 (千円)	/		ふるさと応援基金繰入金 4,420千円				
従事職員数【人工】							
人件費 (人工×8,000千円)							
総事業費：人件費含む (千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)	単位	単位	備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 1. 市民と行政の協働のまちづくり			
単位当たりコスト (円)							

事業区分	継続	事業名	自治体交流事業					
所管課	企画課		(企画財政部)					
事業の目的	姉妹都市又は友好都市として提携することにより、文化、スポーツ、教育、経済、防災等の各分野において本市と他の都市とが友好的な交流を行い、相互的な行政サービスの向上を目的とする。				宇陀市一般会計予算			
					区分 No.	区分名		
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
事業	1	本庁企画費						
根拠条例等	宇陀市姉妹都市又は友好都市の提携に係る手続に関する条例							
総合計画	基本計画 6-3-1 広域行政の推進							
R3年度事業の概要	《事業費内訳》 ・自治体交流事業旅費 96千円 ・自治体交流事業に伴う消耗品 100千円 ・自治体交流協議会用お茶代 13千円 ・自治体交流事業に伴う通行料 25千円				財源の内訳 (単位：千円)			
	他都市との友好的な交流を推進し、より良い行政サービスの実現や、関係人口の創出による地域の活性化などに寄与する。				分担金 負担金 使用料 手数料 国 費 県 費 市 債 その他 一般財源 234 R3予算額 234 R2 当初予算額 85 R2 現計予算額 85 増減額 149			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)								
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額 (千円)	89	85						
従事職員数【人工】	0.05	0.05						
人件費 (人工×8,000千円)	400	400						
総事業費：人件費含む (千円)	489	485						
活動指標名	/							
活動指標の算式								
活動指標の実績(見込)						単位	単位	
単位当たりコスト (円)								
備考						<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 3. 広域行政の推進		

事業区分	継続	事業名	桜井宇陀広域連合事業の推進				
所管課	企画課		(企画財政部)				
事業の目的 桜井広域連合は、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村で構成している団体で、広域行政を推進する。また、広域連携を必要とする事業の実施に係る連携調整を行う。			宇陀市一般会計予算				
			区分	No.	区分名		
			款	2	総務費		
			項	1	総務管理費		
目	4	企画費					
事業	1	本庁企画費					
根拠条例等	地方自治法等						
総合計画	基本計画 6-3-1 広域行政の推進						
R3年度事業の概要	【負担金】 桜井宇陀広域連合負担金 4,951千円			財源の内訳 (単位：千円)			
	事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し) 圏域内外の住民交流の活性化、相互発見などの機会の拡大に努めている。また、基本方針に基づき、ソフト事業施策を体系的に展開する。			分担金負担金			
使用料手数料							
		国費					
		県費					
		市債					
		その他					
		一般財源	4,951				
		R3予算額	4,951				
		R2 当初予算額	4,951				
		R2 現計予算額	4,951				
		増減額					
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)				
決算額又は決算見込額 (千円)		4,951	4,951				
従事職員数【人工】		0.10	0.10				
人件費 (人工×8,000千円)		800	800				
総事業費：人件費含む (千円)		5,751	5,751				
活動指標名		/					
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)						単位	単位
単位当たりコスト (円)							
		特定財源の状況  備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 3. 広域行政の推進					

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行対策費負担金				
所管課	企画課	(企画財政部)			宇陀市一般会計予算		
事業の目的	民間バス事業者が運行するバス路線のうち、赤字路線について運行経費の補助を行う。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
事業	1	本庁企画費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R3年度事業の概要	大宇陀線	17,106千円	財源の内訳 (単位：千円)				
	桜井菟田野線	1,531千円					
	古市場線	11,124千円	分担金負担金				
	榛原東吉野線 (引上分)	913千円	使用料手数料				
	都祁榛原線	1,083千円	国 費				
	榛原ネオポリス線	22,953千円	県 費				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段を確保できる。				市 債		
	【R1利用者数】※H31.4~R2.3				その他		
	大宇陀線	228,626人	一般財源			54,710	
	桜井菟田野線	32,808人	R3予算額			54,710	
	古市場線	55,956人	R2 当初予算額			40,206	
	榛原東吉野線	35,914人	R2 現計予算額			40,206	
	都祁榛原線	49,231人	増減額			14,504	
	榛原ネオポリス線	150,299人					
	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。						
	事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)	35,474	39,568					
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費 (人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費：人件費含む (千円)	37,874	41,968					
活動指標名	利用者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	575,041	単位	人	575,000	単位		人
単位当たりコスト (円)	66		73				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用						

事業区分	継続	事業名	宇陀地域公共交通活性化協議会負担金 (奥宇陀わくわくバス)			
所管課	企画課		(企画財政部)			
<b>事業の目的</b> 宇陀市・曾爾村・御杖村の持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築（特に路線バス奥宇陀線の維持・確保）を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法に基づき、3市村が主体となり、奈良県、公共交通事業者、地域住民等と連携して協議会を組織し、宇陀地域における地域公共交通を確保・維持する。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	4	企画費	
事業	1	本庁企画費				
根拠条例等	道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実					
R3年度事業の概要	市村連携コミュニティバス運行に係る協議会負担金 運行経費見込額 29,958千円 ▲ 運賃収入見込額 7,316千円 ▲ 県補助金見込額 8,001千円 差引 市村負担見込額 14,641千円  宇陀市負担割合 46.1% 宇陀市負担額 6,750千円 事務費負担 30千円			<b>財源の内訳 (単位：千円)</b>		
	平成29年10月から、奈良交通（株）が運行していた奥宇陀線を市村連携コミュニティバスに移行し現在に至る。将来にわたり持続可能な運行を図るため、貨客混載の社会実験を実施するなどの取り組みを実施している。宇陀市と宇陀郡を結ぶ重要な公共交通として今後も着実に運行していく。  R1年度利用実績【4月～3月実績】：11,875人			分担金負担金 使用料手数料 国費 県費 市債 その他 一般財源 6,780 R3予算額 6,780 R2当初予算額 6,241 R2現計予算額 6,241 増減額 539		
<b>事業のコスト</b>		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)			
決算額又は決算見込額 (千円)		5,941	6,241			
従事職員数【人工】		0.30	0.30			
人件費 (人工×8,000千円)		2,400	2,400			
総事業費：人件費含む (千円)		8,341	8,641			
活動指標名		乗車人数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績(見込)		11,875	単位	人	11,800	
単位当たりコスト (円)		702	単位	人	732	
		<b>特定財源の状況</b>				
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用				

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業				
所管課	企画課	(企画財政部)			宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。室生龍口、西谷地域と名張を結ぶコミュニティバスを運行する。			区分	No.	区分名	
				款	2	総務費	
				項	1	総務管理費	
				目	4	企画費	
事業	1	本庁企画費					
根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実						
R3年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行い、地域の公共交通を維持する。			財源の内訳 (単位：千円)			
				分担金 負担金			
事業の 目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	バス路線の維持 令和元年度利用者 利用者数 4,691人 1日平均 19.8人 運行日数 237日			使用料 手数料			
				国 費			
				県 費			
				市 債			
				その他			
				一般財源	500		
				R3予算額	500		
				R2 当初予算額	500		
R2 現計予算額	500						
増減額							
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	500	500					
従事職員数【人工】	0.05	0.05					
人件費 (人工×8,000千円)	400	400					
総事業費：人件費含む (千円)	900	900					
活動指標名	乗車人数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	4,691	単位	人	4,600		単位	人
単位当たりコスト (円)	192		196				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用						

事業区分	継続	事業名	公共交通空白地有償運送事業補助金（らくらくバス）											
所管課	企画課		(企画財政部)											
事業の目的	菟田野地域内の公共交通空白地域及び奈良交通路線バスが廃止された大宇陀地域の一部において交通手段の確保を図ることを目的とする。				宇陀市一般会計予算									
					区分	No.	区分名							
					款	2	総務費							
					項	1	総務管理費							
					目	4	企画費							
事業	1	本庁企画費												
根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱													
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実													
R3年度事業の概要	宇陀市社会福祉協議会が事業主体となっている公共交通空白地有償運送事業（らくらくバス）に対し補助金を交付する。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>運行便数：5便/日</td> </tr> <tr> <td>使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）</td> </tr> </table>				運行便数：5便/日	使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）	財源の内訳（単位：千円）							
					運行便数：5便/日									
使用料：1回当たり200円（大人・子ども共）														
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	利用者の大半が高齢者であり、買い物や通院の手段として地域の人々には無くてはならない交通手段となっている。また奈良交通の廃止路線の代替えとして運行することで大宇陀地域と菟田野地域の市民の移動手段が確保できる。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">令和元年度</th> </tr> <tr> <td>運行日数</td> <td>240日</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>933人</td> </tr> <tr> <td>運行分数</td> <td>5便/日</td> </tr> </table>				令和元年度		運行日数	240日	年間利用者数	933人	運行分数	5便/日	分担金負担金	
					令和元年度									
					運行日数	240日								
					年間利用者数	933人								
					運行分数	5便/日								
					使用料手数料									
					国費									
					県費									
					市債									
					その他									
一般財源	2,482													
R3予算額	2,482													
R2当初予算額	2,473													
R2現計予算額	2,473													
増減額	9													
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況										
決算額又は決算見込額(千円)	2,017	2,473												
従事職員数【人工】	0.01	0.01												
人件費(人工×8,000千円)	80	80												
総事業費：人件費含む(千円)	2,097	2,553												
活動指標名	利用者数													
活動指標の算式	-													
活動指標の実績(見込)	933	単位	人	900	単位	人								
単位当たりコスト(円)	2,248		2,837		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用								

事業区分	新規	事業名	総合計画中期基本計画策定業務			
所管課	企画課		(企画財政部)			
<b>事業の目的</b> 市長マニフェストを中期基本計画に反映させ、安心と希望を取り戻し、誇りと活気ある奈良県東部中心都市、爽やかで美しい関西の高原都市、農・林・畜産業が元気な美しい里山、宇陀っこの笑顔あふれる都市を目指し、県や国と縦横に連携し、オール宇陀でチャレンジできる計画策定に取り組みます。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	4	企画費	
事業	2	総合計画費				
根拠条例等	宇陀市総合計画条例					
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上					
R3年度事業の概要	第2次宇陀市総合計画中期基本計画を策定する。 ・市の現状把握及び構造の分析 ・前期基本計画の検証 ・市民意向の把握（アンケート3,000部。市民団体ヒヤリング） ・現行計画の進捗状況及び第2期総合戦略の確認 ・市民参加の機会の設置（ワークショップ形式3回） ・市民への中期基本計画の送付 概要版15,000冊 審議会委員報酬 343千円 会議開催費 90千円 中期基本計画策定業務委託料 8,998千円			<b>財源の内訳（単位：千円）</b>		
	<b>事業の目標・成果</b> （これまでの成果、今後の見通し）	宇陀市が抱える少子高齢化・人口減少をはじめとした様々な課題の解決を目指すために、新たな施策に取り組みます。			分担金 負担金 使用料 手数料 国 費 県 費 市 債 その他 一般財源 9,431 R3予算額 9,431 R2 当初予算額 Z 現計予算額 増減額 9,431	
<b>事業のコスト</b>		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		<b>特定財源の状況</b>	
決算額又は決算見込額（千円）						
従事職員数【人工】						
人件費（人工×8,000千円）						
総事業費：人件費含む（千円）						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)			単位	単位		
単位当たりコスト（円）						
				備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進	



事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業					
所管課	企画課		(企画財政部)					
<b>事業の目的</b> 公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。			宇陀市一般会計予算					
			区分	No.	区分名			
			款	2	総務費			
			項	1	総務管理費			
			目	4	企画費			
事業	3	代替バス運行事業費						
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例							
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実							
R3年度事業の概要	奈良交通が撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間で市営有償バスを運行する。 ○運行便数：10便/日 ○使用料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一区间利用の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>大人180円</li> <li>小人 90円</li> </ul> </li> <li>・二区间以上の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>大人360円</li> <li>小人180円</li> </ul> </li> <li>・定期券                             <ul style="list-style-type: none"> <li>大人7,200円</li> <li>小人3,600円</li> </ul> </li> </ul>							
	公共交通廃止路線の代替手段として代替バスを運行することで、市民の移動手段が確保できる。 【令和元年度】 年間利用者数 1,575人							
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)								
<b>事業のコスト</b> 決算額又は決算見込額 (千円) 従事職員数【人工】 人件費 (人工×8,000千円) 総事業費：人件費含む (千円)			令和元年度(実績)		令和2年度(見込)			
			3,466		3,446			
活動指標名			利用者数					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績(見込)			1,575	単位	人	1,500	単位	人
単位当たりコスト (円)			3,217		3,364			
<b>特定財源の状況</b> シャトルバス使用料 700千円			増減額 230					
			財源の内訳 (単位：千円)					
<b>備考</b> <予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な整備・維持・活用			分担金負担金					
			使用料手数料		700			
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源			3,637					
R3予算額			4,337					
R2当初予算額			4,107					
R2現計予算額			4,107					
増減額			230					

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業					
所管課	企画課		(企画財政部)					
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
事業	23	大宇陀南部線運行事業費						
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例							
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実							
R3年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域で市営有償バスを運行する。 ○運行便数：6便／日 ○使用料 ・一区间利用の場合 大人130円 小人 50円 ・二区间以上の場合 大人260円 小人100円 ・定期券（1箇月）大人7,800円 小人3,000円				財源の内訳（単位：千円）			
					分担金 負担金	395		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	公共交通廃止路線の代替手段として代替バスを運行することで、市民の移動手段が確保できる。令和元年度にバス車両を14人乗りに変更し、燃料費等の改善を図った。ボランティア有償バスの実証実験の結果により、交通網を見直すため、令和3年11月までの予算となっている。 【令和元年度】 年間利用者数 3,025人				使用料 手数料	300		
					国 費			
					県 費			
					市 債			
					その他			
					一般財源	3,127		
					R3予算額	3,822		
					R2 当初予算額	4,686		
R2 現計予算額	4,686							
増減額	▲ 864							
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額 (千円)	4,440	4,500		循環バス使用料 300千円 雑入(総務管理費雑入) 395千円				
従事職員数【人工】	0.20	0.20		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用				
人件費 (人工×8,000千円)	1,600	1,600						
総事業費：人件費含む (千円)	6,040	6,100						
活動指標名	利用者数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	3,025	単位	人	2,900	単位	人		
単位当たりコスト (円)	1,997		2,103					

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部地域ボランティア有償運送実証運行							
所管課	企画課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	大宇陀南部地域において、地域のボランティアが主体となって運行する市町村有償運送事業を実施し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名			
					款	2	総務費			
					項	1	総務管理費			
					目	4	企画費			
事業	23	大宇陀南部線運行事業費								
根拠条例等										
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実									
R3年度事業の概要	実証運行期間：R2.12.1～R3.11.30(最大) 運行地域：大宇陀南部地域 市営有償バス【大宇陀南部線】の運行地域+スーパーもりかわ、辻村病院等 運行便数：6便 使用料：1人1乗車につき、大人300円 小人150円 運行業務：大宇陀南部地域における有償ボランティア 予約受付業務：まちづくり協議会				財源の内訳 (単位：千円)					
	定時定路線型で運行するバスにデマンド方式を組み合わせ、利用者の自宅から目的地までドアtoドアでの移動を可能にすることで、通院・買い物の頻度の向上を目指す。また副次効果として、おでかけの負担軽減により、おでかけの回数が増えることで、健康寿命の向上や住民同士のつながりの活性化も期待できる。さらに、交通業界における収益率の悪化、急速なドライバー不足における全国的な路線バスの廃線の増加に対し、今後も安定的に交通網を継続するための実験取組として、地域住民に運行を委託し、運行経費の削減に取り組む。				分担金負担金					
使用料手数料					300		国費			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	2,519				
					R3予算額	2,819				
					R2当初予算額	1,689				
R2現計予算額	1,689									
増減額	1,130									
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況						
決算額又は決算見込額 (千円)	/		1,689							
従事職員数【人工】			0.20							
人件費 (人工×8,000千円)			1,600							
総事業費：人件費含む (千円)			3,289							
活動指標名	利用者数							備考 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;予算案重点事業&gt;</li> <li>【重点事業】</li> <li>2.暮らしやすいまち</li> <li>3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用</li> </ul>		
活動指標の算式	-									
活動指標の実績(見込)		単位	300	単位	人					
単位当たりコスト (円)	/		10,963							

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業			
所管課	企画課	(企画財政部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	4	企画費	
事業	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費				
根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例					
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実					
R3年度事業の概要	路線バスや診療所バスが廃止された室生地域において、デマンド型乗合タクシーを運行する。 ○運行便数：6便/日 ○使用料 ・同一エリア 310円 ・複数エリア 520円		財源の内訳 (単位：千円)			
			分担金 負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行することで、市民の移動手段が確保できる。 【令和元年度】 運行日数 243日 年間利用者数 3,153人 運行便数 1,955便 奈良交通の撤退したバス路線の代替として、デマンド型乗合タクシーを運行することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。 当日予約を可能にすることで、利用促進を図る。 【当日予約システム運用費用】 運用費用 1,145,760円		使用料 手数料	2,636		
			国費			
			県費			
			市債			
			その他			
			一般財源	11,986		
			R3予算額	14,622		
			R2 当初予算額	17,234		
			R2 現計予算額	17,234		
			増減額	▲ 2,612		
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)	9,154	17,198	デマンド型乗合タクシー使用料 2,636千円			
従事職員数【人工】	0.20	0.20	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用			
人件費 (人工×8,000千円)	1,600	1,600				
総事業費：人件費含む (千円)	10,754	18,798				
活動指標名	利用者数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	3,153	3,000	単位	人	単位	人
単位当たりコスト (円)	3,411	6,266				

事業区分	継続	事業名	宇陀市地域公共交通計画推進事業			
所管課	企画課		(企画財政部)			
<b>事業の目的</b> 「宇陀市地域公共交通計画」に基づき、基本理念で掲げた「市民総参加（宇陀力）による健康・観光・交通まちづくり」を実現していくためには、地域公共交通のさらなる利用促進を図ることが重要であることから、今後、「宇陀市地域公共交通計画」に位置づけた事業を、着実に実施する。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	4	企画費	
事業	101	本庁企画費（地域公共交通事業）				
根拠条例等	宇陀市地域公共交通活性化再生協議会規約					
総合計画	基本計画 2-3-2 地域公共交通の充実					
R3年度事業の概要	宇陀市公共交通活性化再生協議会に対する市負担金（事業費）2,244千円＝（市負担金）2,244千円 【事業内容】 ■宇陀市地域公共交通計画の推進 ①都市拠点や交流拠点におけるアクセス性・拠点性の強化 ②拠点と各集落を結ぶ地域公共交通ネットワークの維持 ③地域特性に対応したサービスの見直し ④地域住民や利用者の意識の醸成 ⑤それぞれが主体性を持った移動サービスの支援体制の構築			<b>財源の内訳（単位：千円）</b>		
	令和2年度に策定した基本方針に基づき、地域住民、交通事業者、行政が一体となった持続可能な地域公共交通を目指す。 【基本方針】 ・「健幸都市 ウェルネスシティ宇陀市」実現を目指すまちづくりを支える移動サービスの構築 ・住む場所や年齢などに関係なく、誰もが安心して移動できる面的な移動サービスの構築 ・地域の特徴に応じた適材適所で多様な移動サービスの構築 ・地域住民・交通事業者・行政が一体となった移動サービスの育成			分担金負担金 使用料手数料 国費 県費 市債 その他 一般財源 2,244 R3予算額 2,244 R2当初予算額 R2現計予算額 増減額 2,244		
<b>事業のコスト</b>		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)			
決算額又は決算見込額（千円）		4,969	2,904			
従事職員数【人工】		0.50	0.50			
人件費（人工×8,000千円）		4,000	4,000			
総事業費：人件費含む（千円）		8,969	6,904			
活動指標名		利用人数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績(見込)		575,041	単位	人	575,000	
単位当たりコスト（円）		16	単位	人	12	
		<b>特定財源の状況</b>				
備考		〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用				

令和 3 年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業【大和高原しごとづくり事業】			
所管課	企画課		(企画財政部)			
<b>事業の目的</b> 本事業は、宇陀市総合計画で掲げている「地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成」を推進するため、国の地域おこし協力隊制度を活用するとともに官民連携による起業家を育成し、経済循環を図る。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	4	企画費	
事業	102	本庁企画費（アントレプレナー育成循環事業）				
根拠条例等	大和高原の魅力ある仕事づくり連携協定、宇陀市仕事づくり推進隊設置要綱					
総合計画	基本計画 3-2-1 雇用の創出					
R3年度事業の概要	「食と農」をテーマにした本市の地域資源を最大限に活用した起業家の育成を行う。 ●負担金 大和高原しごとづくり協議会負担金：17,834千円 起業支援金：3,000千円（3名分） ●旅費 100千円 ●一般事務経費 10千円 ●人件費 20,711千円			<b>財源の内訳（単位：千円）</b>		
	人口減少社会を迎える中で、移住定住の促進に向けては、雇用創出が必須の課題である。平成28年12月に奈良県・宇陀市・ルート製菓㈱による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結したことから、官民連携による仕事づくりに向けた取り組みを進める。 本市の特徴として、大和高原地帯であり、古くから菓草の栽培、有機農業なども盛んな地域である。そのような地域性を活かした起業家の育成に向けて、起業支援メニューの充実、空き家、空き店舗等とも連携し、市内での創業件数の増加や起業家が市内で活躍するまちづくりを目指す。			分担金 負担金 使用料 手数料 国 費 県 費 市 債 その他 一般財源 41,655 R3予算額 41,655 R2 当初予算額 48,470 R2 現計予算額 48,470 増減額 ▲ 6,815		
<b>事業のコスト</b>		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)			
決算額又は決算見込額（千円）		27,728	36,934			
従事職員数【人工】		0.50	0.50			
人件費（人工×8,000千円）		4,000	4,000			
総事業費：人件費含む（千円）		31,728	40,934			
活動指標名		起業家育成人数				
活動指標の算式		-				
活動指標の実績(見込)		8	単位	人	10	
単位当たりコスト（円）		3,966,000	4,093,400			
		<b>特定財源の状況</b>				
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 3. 活力あるまち 2. 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成				

事業区分	継続	事業名	情報セキュリティ対策支援事業			
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	本業務は、新たなICT関連事業の効果的な推進や情報システムの調達・運用の適正化を図るため、専門的知識と経験を有する専門家へ支援業務を委託するものである。 新たな情報通信技術へ適切に対応しながら、全庁に対するICTガバナンスを強化し、IT投資の最適化、住民サービスの向上及び情報セキュリティ向上を図り、行政の効率的かつ円滑な運営と信頼性を確保することを目的とする。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	5	電子計算費	
事業	1	本庁電子計算費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上					
R3年度事業の概要	①ICT関係予算の検証 情報システム担当者研修（兼予算検証説明会）の開催、ヒアリング等を通して、次年度のICT事業の計画内容や予算規模の適正さを検証する。 ②情報セキュリティポリシーの改訂支援 宇陀市情報セキュリティポリシーを、総務省の最新版ガイドラインに適用させ、あわせてテレワーク等新たな運用ルールも整理する。 ③強靱化事業の設計支援 情報セキュリティ強靱化システムの更新事業における設計支援（調達仕様書の作成等）を実施する。		財源の内訳 (単位：千円)			
	(成果) ・情報資産管理台帳の作成 ・ICT関係予算の検証 ・情報セキュリティ実施手順書の作成 ・職員研修（情報セキュリティ、システム担当者） ・自己点検チェックシートの作成 (目標) ・情報資産管理台帳のメンテナンス ・ICT関係予算の検証（継続） ・情報セキュリティポリシーの改訂 ・職員研修（情報セキュリティ、システム担当者） ・情報セキュリティ強靱化システムの調達仕様書作成		分担金負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)			使用料手数料			
			国費			
		県費				
		市債				
		その他				
		一般財源		3,457		
		R3予算額		3,457		
		R2 当初予算額		1,518		
		R2 現計予算額		1,518		
		増減額		1,939		
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		1,518				
従事職員数【人工】		0.50				
人件費 (人工×8,000千円)		4,000				
総事業費：人件費含む (千円)		5,518				
活動指標名	市民一人当たり費用					
活動指標の算式	歳出額/市民数					
活動指標の実績(見込)		単位	29,306	単位	人	
単位当たりコスト (円)		188				
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進					

事業区分	継続	事業名	集会施設等コミュニティ施設整備事業補助金		
所管課	総務課 (総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	住民相互の助け合いのコミュニティづくりの拠点となるべき公民館等の集会施設の適正な管理等に対する支援を行う。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	7	自治振興費
事業					
根拠条例等	指定管理者による宇陀市集会所コミュニティ施設整備事業に係る委託料交付要綱 他				
総合計画	基本計画 6-4-2 市民活動の支援				
R3年度事業の概要	自治会等のコミュニティ活動の拠点となる施設の新築、改修に対し事業費の一部を補助する。補助額は新築・改築は、1/2以内の額（単一自治会の場合、上限10,000千円）、増築・改修は事業費30万円以上で事業費の1/2以内の額（上限2,000千円） （単位：千円）		財源の内訳（単位：千円）		
			分担金負担金		
事業の目標・成果（これまでの成果、今後の見通し）	地域における住民の自主的な活動の拠点としての集会所等の改修等に対して支援を行うことで、市民の福祉の増進とふれあい豊かな地域社会の育成を図る。		使用料手数料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他	10,421	
			一般財源		
			R3予算額	10,421	
			R2当初予算額	3,475	
			R2現計予算額	3,475	
			増減額	6,946	
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額（千円）	12,410	3,291	ふるさと応援基金繰入金 10,421千円		
従事職員数【人工】	0.25	0.25	備考 〈予算案重点事業〉 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 4. 地域力の再生・強化		
人件費（人工×8,000千円）	2,000	2,000			
総事業費：人件費含む（千円）	14,410	5,291			
活動指標名	交付件数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)	7 単位 件	9 単位 件			
単位当たりコスト（円）	2,058,571	587,889			



事業区分	継続	事業名	自治会掲示板設置事業補助金			
所管課	総務課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う掲示板設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	7	自治振興費	
事業						
根拠条例等	宇陀市自治会掲示板設置事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 6-4-1 地域力の向上・強化					
R3年度事業の概要	自治会が設置管理する掲示板について事業費の一部を補助する。 新設・建替：5基 修繕：8基		財源の内訳 (単位：千円)			
	1基あたり ●新設・建替の場合 事業費の 1/2 上限5万円 ●既設掲示板の修繕 事業費の 1/2 上限2万円		分担金 負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	自治会活動において、行政等から回覧文書などの広報活動については自治会長を通じて自治会員に回覧していただいている。 しかし全員に回覧される場合は時間的なものもあるので、多数の方がご覧になれる掲示板は有効な広報手段であると考えるので補助金を交付する。		使用料 手数料			
			国 費			
			県 費			
			市 債			
			その他	410		
			一般財源			
			R3予算額	410		
			R2 当初予算額	830		
R2 現計予算額	830					
増減額	▲ 420					
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)	235	725	ふるさと応援基金繰入金 410千円			
従事職員数【人工】	0.08	0.08				
人件費 (人工×8,000千円)	640	640				
総事業費：人件費含む (千円)	875	1,365				
活動指標名	実施数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	12	単位	基	9	単位	基
単位当たりコスト (円)	72,917		151,667			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 4. 地域力の再生・強化					

事業区分	継続	事業名	交通安全対策事業						
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算						
事業の目的	公共の場所における自転車等の駐車秩序を確立することにより、良好な生活環境と交通の円滑化を図るとともに交通安全活動組織、行政、警察と連携を図り、交通事故・違反のない安全なまちづくりを推進する。			区分	No.	区分名			
				款	2	総務費			
				項	1	総務管理費			
				目	8	交通安全対策費			
事業	1	交通安全対策費							
根拠条例等	宇陀市自転車等の放置防止に関する条例・交通安全対策費補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 2-1-2 交通安全関連の整備								
R3年度事業の概要	(単位:千円)			財源の内訳 (単位:千円)					
	需用費			分担金					
	役務費			負担金					
	委託料(マイクロバス運転委託)			使用料	5				
	負担金、補助及び交付金			手数料					
	宇陀市交通安全協会分会補助金	391		国費					
	宇陀市交通対策協議会補助金	180		県費					
	宇陀市交通安全母の会補助金	65		市債					
桜井宇陀東吉野交通対策協議会	584		その他						
合計	1,349		一般財源	1,344					
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	交通安全活動組織、行政、警察と連携を図り、交通事故・違反のない安全なまちづくりを推進する。			R3予算額	1,349				
				R2当初予算額	1,525				
				R2現計予算額	1,525				
				増減額	▲ 176				
				事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況	
				決算額又は決算見込額 (千円)	1,354	1,480	放置自転車等保管手数料 1千円 放置自転車等移動手数料 4千円		
従事職員数【人工】	0.30	0.30	備考 〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 1. みんなが住み良いまちづくりの実現						
人件費 (人工×8,000千円)	2,400	2,400							
総事業費: 人件費含む (千円)	3,754	3,880							
活動指標名	活動日数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績(見込)	70	単位	日	70	単位	日			
単位当たりコスト (円)	53,629		55,429						

事業区分	継続	事業名	生活安全対策事業			
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	防犯活動組織、行政、警察が連携を図り、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。また、自治会が行う防犯カメラ設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	10	生活安全対策費
事業	1	本庁生活安全対策費				
根拠条例等	宇陀市安全で住みよいまちづくりに関する条例、宇陀市防犯カメラ設置事業補助金交付要綱等					
総合計画	基本計画 2-1-3 防犯体制と消費者保護の強化					
R3年度事業の概要	(単位:千円)			財源の内訳 (単位:千円)		
	需用費	636		分担金		
	役務費	5		負担金		
	委託料(マイクロバス運転委託)	19		使用料		
	負担金、補助及び交付金			手数料		
	桜井署管内少年補導委員会補助金	87		国費		
	桜井・宇陀・東吉野地区防犯協議会負担金	584		県費		
	桜井宇陀東吉野地区暴力団排除推進協議会負担金	181		市債		
防犯カメラ設置事業補助金	1,400		その他	1,400		
合計	2,912		一般財源	1,512		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。 防犯カメラ設置事業補助件数 H29 1件 H30 1件 R元 4件 R2 4件			R3予算額	2,912	
				R2 当初予算額	2,115	
				R2 現計予算額	2,315	
				増減額	797	
				特定財源の状況		
				ふるさと応援基金繰入金 1,400千円		
事業のコスト			令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		
決算額又は決算見込額 (千円)			1,602	1,757		
従事職員数【人工】			0.01	0.01		
人件費 (人工×8,000千円)			80	80		
総事業費: 人件費含む (千円)			1,682	1,837		
活動指標名			活動日数			
活動指標の算式			-			
活動指標の実績(見込)			60	単位	日	60
単位当たりコスト (円)			28,033	30,617		
			備考			
			<予算案重点事業> 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 1. みんなが住み良いまちづくりの実現			

事業区分	新規	事業名	特殊詐欺等防止対策機器購入補助事業		
所管課	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	安全で住みよいまちづくりに向けて、市民の防犯意識を高め、安全で安心して暮らせる地域社会を目指す。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	10	生活安全対策費
			事業	1	本庁生活安全対策費
根拠条例等	宇陀市特殊詐欺等防止対策機器購入費補助金交付要綱				
総合計画	基本計画 2-1-3 防犯体制と消費者保護の強化				
R3年度事業の概要	[補助金] 特殊詐欺等防止対策機器購入補助金 10,000円×30件=300,000円 補助対象経費の1/2補助 (上限10,000円)			財源の内訳 (単位:千円)	
	振り込め詐欺等の防止を図る。			分担金 負担金	
事業の 目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)				使用料 手数料	
				国 費	
			県 費		
			市 債		
			その他	300	
			一般財源		
			R3予算額	300	
			R2 当初予算額		
			R2 現計予算額	800	
			増減額	300	
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)		800		ふるさと応援基金繰入金 300千円	
従事職員数【人工】		0.10			
人件費 (人工×8,000千円)		800			
総事業費:人件費含む (千円)		1,600			
活動指標名	交付実績				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)		単位	80	単位	件
単位当たりコスト (円)		20,000		備考	
			〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 1.みんなが住み良いまちづくりの実現		

事業区分	継続	事業名	防犯灯設置事業補助金																																											
所管課	総務課 (総務部)		宇陀市一般会計予算																																											
事業の目的	自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う防犯灯設置事業に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。			区分	No.	区分名																																								
				款	2	総務費																																								
				項	1	総務管理費																																								
				目	10	生活安全対策費																																								
事業																																														
根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱																																													
総合計画	基本計画 6-4-1 地域力の向上・強化																																													
R3年度事業の概要	●補助内容 防犯灯新設 LED 14千円 蛍光灯 10千円 既設柱照明器具更新 LED 10千円 蛍光灯 6千円 照明器具取替え LED 7千円 蛍光灯 3千円 (単位:千円)			財源の内訳 (単位:千円)																																										
	<table border="1"> <tr><td>新設(LED)</td><td>14千円</td><td>×</td><td>15基</td><td>210</td></tr> <tr><td>既設柱新設(LED)</td><td>10千円</td><td>×</td><td>33基</td><td>330</td></tr> <tr><td>器具取替え(LED)</td><td>7千円</td><td>×</td><td>97基</td><td>679</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td>1,219</td></tr> </table>			新設(LED)	14千円	×	15基	210	既設柱新設(LED)	10千円	×	33基	330	器具取替え(LED)	7千円	×	97基	679	合計				1,219	<table border="1"> <tr><td>分担金負担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料手数料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,219</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>R3予算額</td><td>1,219</td></tr> <tr><td>R2当初予算額</td><td>1,654</td></tr> <tr><td>R2現計予算額</td><td>1,654</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>▲ 435</td></tr> </table>		分担金負担金		使用料手数料		国費		県費		市債		その他	1,219	一般財源		R3予算額	1,219	R2当初予算額	1,654	R2現計予算額	1,654	増減額
新設(LED)	14千円	×	15基	210																																										
既設柱新設(LED)	10千円	×	33基	330																																										
器具取替え(LED)	7千円	×	97基	679																																										
合計				1,219																																										
分担金負担金																																														
使用料手数料																																														
国費																																														
県費																																														
市債																																														
その他	1,219																																													
一般財源																																														
R3予算額	1,219																																													
R2当初予算額	1,654																																													
R2現計予算額	1,654																																													
増減額	▲ 435																																													
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	(基)																																													
		H28	H29	H30	R元																																									
防犯灯新設	11	16	11	29																																										
既設柱照明器具更新	40	62	58	50																																										
照明器具取替	953	889	809	502																																										
合計	1,004	967	878	581																																										
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況																																										
決算額又は決算見込額 (千円)	4,416	1,654		ふるさと応援基金繰入金 1,219千円																																										
従事職員数【人工】	0.08	0.08																																												
人件費 (人工×8,000千円)	640	640																																												
総事業費: 人件費含む (千円)	5,056	2,294																																												
活動指標名	実施数																																													
活動指標の算式	-																																													
活動指標の実績(見込)	581	単位	基	174	単位	基																																								
単位当たりコスト (円)	8,702		13,184																																											
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 1.みんなが住み良いまちづくりの実現																																													

事業区分	新規	事業名	自主放送スタジオ移転事業		
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	迅速な情報発信を目指し、スタジオ及び事務所を市役所地下1階視聴覚室へ移転する。災害時や緊急事態時の放送にも迅速に対応ができるほか、行政情報の発信をさらに拡大する。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	14	自主放送費
事業	1	自主放送費			
根拠条例等	宇陀市自主放送スタジオ				
総合計画	基本計画 2-3-4 地域情報化の推進				
R3年度事業の概要	(単位：千円)			財源の内訳 (単位：千円)	
	科目	内容	金額	分担金 負担金	
	修繕料	視聴覚室サッシ修繕料	269	使用料 手数料	
	委託料	事務所移転作業委託料	329	国 費	
	工事請負 費	配線整備工事	893	県 費	
		空調設備設置工事	328	市 債	
	備品購入費	スタジオ移設の設備費	1,009	その他	2,828
	合 計		2,828	一般財源	
事業の 目標・成果 (これまでの成 果, 今後の見通 し)	庁舎への移転により通信速度が飛躍的に向上することから、YouTubeなどを使った市内外への広報活動や、ホームページ内への動画コーナーの増設が可能となる。また、番組制作の際には、打ち合わせから撮影まで庁舎内で行えることにより番組を増やすことができる。			R3予算額	2,828
				R2 当初予算額	
				R2 現計予算額	
				増減額	2,828
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額 (千円)	/		ふるさと応援基金繰入金 2,828千円		
従事職員数【人工】					
人件費 (人工×8,000千円)					
総事業費：人件費含む (千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2. 暮らしやすいまち 3. 公共インフラの持続的な 整備・維持・活用
単位当たりコスト (円)					

事業区分	継続	事業名	<b>自主放送事業</b>			
所管課	秘書広報情報課 (総務部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	市の広報、現在の広報紙やホームページ以外に宇陀市からの情報伝達の媒体手段の一つとして、市民の皆さんにテレビによる情報を提供する。また、市民が情報発信のできるまちづくりに取り組み、まちの活性化と市民の連帯感を醸成する。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	14	自主放送費
事業	1	自主放送費				
根拠条例等	宇陀市自主放送スタジオ					
総合計画	基本計画 2-3-4 地域情報化の推進					
R3年度事業の概要	(単位：千円)			財源の内訳 (単位：千円)		
	科目	内容	金額	分担金 負担金		
	人件費	会計年度任用職員	2,271	使用料 手数料		
	報酬	委員報酬	49	国費		
	需用費	消耗品等	478	県費		
	役務費	広告取扱手数料等	573	市債		
	委託料	自主放送番組制作委託料	15,180	その他	1,000	
		警備業務委託料	132	一般財源	22,278	
	使用料及び賃借料	自主放送用送出サーバ使用料等	3,999	R3予算額	23,278	
		自動車借上料	297	R2 当初予算額		
	負担金	施設積立金負担金	299	R2 現計予算額		
	合 計		23,278	増減額	23,278	
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀市ホットニュース、宇陀市政なう、まちの話題、特別番組については、月3回更新で放送し、少しでも新しい情報を提供していく。議会中継及び録画再放送により、市政への関心を高め参加意識の醸成につなげると共に、緊急放送システムの整備により、市民の安全安心生活の一翼を担う。					
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	27,188	21,877		・雑入 有料広告収入 1,000千円		
従事職員数【人工】	3.00	2.80				
人件費 (人工×8,000千円)	24,000	22,400				
総事業費：人件費含む (千円)	51,188	44,277				
活動指標名	市民一人当たり費用					
活動指標の算式	歳出額／市民数					
活動指標の実績(見込)	29,737	単位	人	29,223	単位	
単位当たりコスト (円)	1,721			1,515		
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 3.公共インフラの持続的な整備・維持・活用					

事業区分	継続	事業名	地域受入協議会支援事業					
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)					
事業の目的	奈良県南部・東部地域において、移住、二地域居住及び定住に向けた活動を行う団体（地域受入協議会）を支援する。 ※地域受入協議会：宇陀市の住民及び職員等で構成され、南部・東部地域への移住、二地域居住及び定住を支援する団体をいう。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
目	17	まちづくり支援費						
事業	1	まちづくり支援費						
根拠条例等	宇陀市地域受入協議会支援事業費補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり							
R3年度事業の概要	対象経費：地域受入協議会が行う宇陀市への移住、二地域居住及び定住の促進に向けた事業（施設整備を除く。）に要する経費 ・補助金（県1/2、市1/2） 500千円/1申請×1団体				財源の内訳（単位：千円）			
					分担金 負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	宇陀市への移住、二地域居住及び定住を促進し、活力あるまちづくりに繋げる。				使用料 手数料			
					国 費			
					県 費	250		
					市 債			
					その他			
					一般財源	250		
					R3予算額	500		
					R2 当初予算額	1,000		
					R2 現計予算額	1,000		
					増減額	▲ 500		
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額（千円）	500	500						
従事職員数【人工】	0.30	0.30						
人件費（人工×8,000千円）	2,400	2,400						
総事業費：人件費含む（千円）	2,900	2,900						
活動指標名	受入人数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	50	単位	人	50	単位	人		
単位当たりコスト（円）	58000		58,000					
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化							



事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク					
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)					
事業の目的	市内にある空き家等の有効活用を通して、市外からの定住促進を図るため、市内の空き家の情報発信を行う。 空き家情報バンク制度を充実させ、空き家解消に努めると共に宇陀市への移住定住を進める。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	17	まちづくり支援費	
事業	101	まちづくり支援費 (定住促進事業)						
根拠条例等	宇陀市空き家情報バンク設置要綱、宇陀市空き家対策・起業者支援事業補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進							
R3年度事業の概要	○空き家情報バンク 所有者から申込みのあった物件情報を、市と「空き家総合対策業務」委託契約を交わした空き家コンシェルジュが確認し、空き家情報バンクに登録する。また利用者登録も行う。 空き家バンク運営委託等 2,166千円 古民家アドバイザー手数料 200千円				財源の内訳 (単位：千円)			
	空き家の有効活用及び定住を促進し、地域の活性化を促すために、所有者に制度を周知するとともに、空き家は地域活力や人口増加の受け皿である意識を醸成する。				分担金負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)					使用料手数料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,366		
					R3予算額	2,366		
					R2当初予算額	37		
				R2現計予算額	1,931			
				増減額	2,329			
事業のコスト		令和元年度(実績)		令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		45		1,931				
従事職員数【人工】		0.30		0.30				
人件費 (人工×8,000千円)		2,400		2,400				
総事業費：人件費含む (千円)		2,445		4,331				
活動指標名		空き家情報バンク登録件数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績(見込)		34	単位	件	24	単位	件	
単位当たりコスト (円)		71,912		180,458		備考		
						<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化		

事業区分	新規	事業名	宇陀の魅力体験施設整備事業			
所管課	まちづくり支援課 (企画財政部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	新しい生活様式への対応として、宇陀市の良さを生かした「生活・働く」スタイルとして、空き家を活用した都市部からの移住体験施設・シェアオフィス等によるリビングシフトを推進する。		区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	17	まちづくり支援費	
事業	101	まちづくり支援費 (定住促進事業)				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進					
R3年度事業の概要	移住体験施設・シェアオフィスの運営開始に向けた施設整備を行う。		財源の内訳 (単位：千円)			
	需用費	3千円	分担金			
	役務費	280千円	負担金			
	委託料	1,200千円	使用料			
			手数料			
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)	地域のまちづくり協議会と連携して令和3年度中の開設を目指す。		国費			
			県費			
			市債	1,200		
			その他			
			一般財源	283		
			R3予算額	1,483		
			R2当初予算額			
			R2現計予算額	1,764		
増減額	1,483					
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)		1,764	過疎対策事業債 1,200千円			
従事職員数【人工】		1.00				
人件費 (人工×8,000千円)		8,000				
総事業費：人件費含む (千円)		9,764				
活動指標名	施設数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)		2	単位	箇所	備考 〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化	
単位当たりコスト (円)		4,882,000				

事業区分	継続	事業名	移住支援金交付事業					
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	移住支援事業は、東京圏への過度な一極集中の是非及び地域の中 小企業等における人手不足の解消を目的として、移住者に対し支援 金を支給する。 なお、移住支援事業に関連するマッチング支援事業は、地域の企 業等における人材のミスマッチや人手不足の解消を目的として、地 域の企業による幅広い求人情報の作成及びマッチングサイトを用い た情報の提供を行うことを支援するものである。 マッチングサイトは、就業の場合の移住支援金の対象となる就業 先を周知するためにも用いられるものであり、移住支援事業とマッ チング事業は一体として機能する。				区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	17	まちづくり支援費	
事業	101	まちづくり支援費 (定住促進事業)						
根拠条例等	宇陀市移住支援金交付要綱							
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進							
R3年度事業の概要	○移住支援事業 奈良県が行う就業支援事業又は起業支援事業と連携し、東京圏から移住して就業し、又は起業しようとする者が転居・就業又は起業・定着に至った場合に、奈良県と宇陀市が協働して移住支援金を給付する。 ○就業支援事業 奈良県が、東京圏の求職者に対して訴求力の高いインターネットサイトを開設し、県内就業の支援を行う。 ○起業支援事業 奈良県が、県内において社会的事業等を新たに起業した者に対して起業支援金を給付するとともに、販路開拓や資金計画書の作成等の伴走支援を行う。				財源の内訳 (単位：千円)			
	奈良県と連携し、県内企業等の人材不足の解消及び地域課題の解決並びに県内への移住・定住の促進を図る。				分担金 負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料 手数料			
					国 費			
					県 費	750		
					市 債			
					その他			
					一般財源	250		
					R3予算額	1,000		
					R2 当初予算額	1,000		
				R2 現計予算額	1,000			
				増減額				
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)		/						
従事職員数【人工】								
人件費 (人工×8,000千円)								
総事業費：人件費含む (千円)								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績(見込)				単位		単位	備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化	
単位当たりコスト (円)								

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励事業・子育て世代支援事業				
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市内に住宅を取得した要件を満たす方に奨励金（ウッピー商品券）を交付し、人口減少の歯止めと定住化及び活力あるまちづくりを推進する。 平成27年度からは、奨励金の上乗せにより、子育て世代への支援を行っている。 デジタルサイネージ等で市の魅力を発信すること及び移住促進施設を整備し、県外の方に関心を持っていただくことで当市への移住定住を促す。				区分 No.	区分名	
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費 (定住促進事業)					
根拠条例等	宇陀市経済対策としての定住促進奨励金交付要綱						
総合計画	基本計画 2-2-3 U・I・Jターンの促進						
R3年度事業の概要	○事務経費 印刷費 30千円、通信費 6千円、手数料 54千円、旅費 82千円 ○定住促進奨励金 転入分 100千円×30件=3,000千円 転居分 50千円×20件=1,000千円 子育て加算分 200千円×20件=4,000千円 ※18歳以下の子どもが1人の場合 50千円 2人の場合 100千円 3人以上の場合200千円				財源の内訳 (単位：千円)		
	定住促進及び自治会への加入による活力あるまちづくりの推進と市内経済の活性化を図る。 平成24年度実績 転入28件(78人) 転居14件(50人) 平成25年度実績 転入19件(60人) 転居32件(111人) 平成26年度実績 転入22件(66人) 転居29件(99人) 平成27年度実績 転入29件(95人) 転居29件(76人) 平成28年度実績 転入20件(76人) 転居37件(112人) 平成29年度実績 転入29件(84人) 転居35件(139人) 平成30年度実績 転入18件(55人) 転居34件(123人) 令和元年度実績 転入14件(37人) 転居25件(97人) うち令和元年度子育て加算分 転入 9件、転居20件  看板設置等による移住相談件数 106件				分担金負担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料手数料		
					国費		
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	8,172		
				R3予算額	8,172		
				R2 当初予算額	8,172		
				R2 現計予算額	8,172		
				増減額			
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)	5,467	6,114					
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費 (人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費：人件費含む (千円)	7,867	8,514					
活動指標名	申請件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	39	単位	件	40	単位		
単位当たりコスト (円)	201,718			212,850			
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化						

事業区分	継続	事業名	結婚支援事業					
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)					
事業の目的	新たな出会いや結婚の機会を創出することにより、未婚化・晩婚化の対策を図るとともに、地域全体で結婚を支援する機運の醸成を図る。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
目	17	まちづくり支援費						
事業	101	まちづくり支援費 (定住促進事業)						
根拠条例等	宇陀市結婚支援事業実施要綱							
総合計画	基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり							
R3年度事業の概要	○結婚支援イベント事業委託 100千円×2件=200千円 ○イベントを通じて成婚し、市に定住した場合の結婚祝金 50千円				財源の内訳 (単位：千円)			
	独身男女の出会いイベントを市が誘導することにより、地域全体で若者の結婚を支援する機運を高め、宇陀の魅力をアピールしたイベントを通じて、カップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指す。  平成23年度から令和元年度までの成果 開催回数 19回 参加者数 504名 成婚 5組 (うち、結婚祝金の対象4組) ※令和元年度参加者数90人、成立カップル13組				分担金 負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料 手数料			
					国 費			
					県 費			
					市 債			
					その他			
					一般財源	250		
					R3予算額	250		
					R2 当初予算額	50		
					R2 現計予算額	50		
					増減額	200		
事業のコスト	令和元年度(実績)		令和2年度(見込)					
決算額又は決算見込額 (千円)	450		/					
従事職員数【人工】	0.40							
人件費 (人工×8,000千円)	3,200							
総事業費：人件費含む (千円)	3,650							
活動指標名	参加者数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	90	単位	人	単位				
単位当たりコスト (円)	40,556		/					
特定財源の状況								
備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化							

事業区分	新規	事業名	新婚生活支援事業		
所管課	まちづくり支援課 (企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト（新居の家賃、引越費用等）を支援する。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	17	まちづくり支援費
事業	101	まちづくり支援費（定住促進事業）			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 2-2-2 定住につながる環境づくり				
R3年度事業の概要	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規に婚姻した世帯に1世帯60万円の補助金を交付する。 補助金 600,000円×5世帯=3,000,000円 印刷費 6,000円		財源の内訳 (単位：千円)		
	本制度を実施することで、結婚から出産、子育てと切れ目のない取り組みができる。		分担金 負担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果, 今後の見通し)			使用料 手数料		
			国 費		
			県 費	1,500	
			市 債		
			その他		
			一般財源	1,506	
			R3予算額	3,006	
			R2 当初予算額		
		R2 現計予算額			
		増減額	3,006		
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況
決算額又は決算見込額 (千円)				奈良県結婚新生活支援事業補助金 1,500千円	
従事職員数【人工】				備考 〈予算案重点事業〉 【重点事業】 2.暮らしやすいまち 2.移住定住の促進強化	
人件費 (人工×8,000千円)					
総事業費：人件費含む (千円)					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績(見込)		単位	単位		
単位当たりコスト (円)					

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会支援事業					
所管課	まちづくり支援課		(企画財政部)					
事業の目的	地域住民が身近な課題解決に向け、それぞれの地域の個性を活かして自立的にまちづくりを推進するため「まちづくり協議会」の活動を支援する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	17	まちづくり支援費	
事業	102	まちづくり支援費（まちづくり協議会支援事業）						
根拠条例等	「まちづくり基本理念条例」、「宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱」							
総合計画	基本計画 6-1-2 市民の協働と参画の推進							
R3年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業 需用費 25千円、役務費 5千円 地域づくりアドバイザー人件費 10,794千円 ○いきいき地域づくり補助金 基本分 12,700千円 ○いきいき地域づくり補助金 活動支援分 3,800千円 ○拠点整備・運転業務委託料 711千円				財源の内訳 (単位：千円)			
	市民主体のまちづくり組織を形成することにより、自らが考えることにより地域の実情に応じた活動しやすい組織づくりを醸成する。 いきいき地域づくり補助金（基本分）の活用により、地域課題に応じ事業が実施できる。 いきいき地域づくり補助金（活動支援分）については、独自に取り組む事業に対して追加分の補助金を支給する。 ※対象事業：市外住民との交流事業、コミュニティビジネス事業、高齢者生きがいつくり事業、世代間多世代交流事業、子ども支援事業、その他市長が認める事業				分担金負担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料手数料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	28,035		
					R3予算額	28,035		
				R2当初予算額	27,322			
				R2現計予算額				
				増減額	713			
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額 (千円)		26,530	20,500					
従事職員数【人工】		1.50	1.50					
人件費 (人工×8,000千円)		12,000	12,000					
総事業費：人件費含む (千円)		38,530	32,500					
活動指標名		まちづくり協議会数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績(見込)		22	単位	団体	22	単位	団体	
単位当たりコスト (円)		1,751,364		1,477,273				
						備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 1.市民と行政の協働のまちづくり	

事業区分	新規	事業名	まちづくり活動応援補助金交付事業		
所管課	まちづくり支援課 (企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市内で活動する団体が行う新たな取り組みに対して補助金を交付することにより、市民による主体的かつ地域の個性を活かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的とする。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	17	まちづくり支援費
事業	103	まちづくり支援費（まちづくり活動応援事業）			
根拠条例等	まちづくり活動応援補助金交付金交付要綱				
総合計画	基本計画 6-4-1 地域力の向上・強化				
R3年度事業の概要	○審査会及び実績報告会 審査員謝礼 41千円 需用費 13千円 役務費 5千円 ○補助金 500千円×2団体=1,000千円 400千円×2団体= 800千円 300千円×4団体=1,200千円		財源の内訳 (単位：千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 市民活動の特性を活かし、市民ニーズに対応した事業を実施することにより、行政の補完、補助的な役割をもった事業へつなげる。また、自立した活動ができる団体を育成する。 平成23年度実績 新規10団体 平成24年度実績 新規 6団体 継続2団体 平成25年度実績 新規 5団体 継続2団体 平成26年度実績 新規 6団体 平成27年度実績 新規 4団体 継続2団体 平成28年度実績 新規 3団体 継続4団体 平成29年度実績 新規 3団体 継続3団体 平成30年度実績 新規 4団体 継続3団体 令和元年度実績 新規 2団体 継続6団体		分担金負担金		
使用料手数料					
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源			3,059		
R3予算額			3,059		
R2 当初予算額					
R2 現計予算額					
増減額	3,059				
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)	3,072				
従事職員数【人工】	0.40				
人件費 (人工×8,000千円)	3,200				
総事業費：人件費含む (千円)	6,272				
活動指標名	補助団体数		備考 <予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 4. 地域力の再生・強化		
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)	8	単位 団体			
単位当たりコスト (円)	784,000				



事業区分	継続	事業名	徴収対策経費																																																																
所管課	徴収対策課		(企画財政部)																																																																
					宇陀市一般会計予算																																																														
事業の目的	市税・国民健康保険税の納期内納付の指導及び、税負担の公平性を確保するため滞納者の実態調査・財産調査に基づき滞納処分を行い、税債権の回収に努め滞納税の圧縮を図る。				区分 No.	区分名																																																													
					款	2	総務費																																																												
					項	2	徴税费																																																												
					目	3	徴収対策費																																																												
事業	1	本庁徴収対策費																																																																	
根拠条例等	地方税法・国税徴収法・民法・宇陀市税条例・宇陀市国民健康保険条例																																																																		
総合計画	基本計画 6-2-3 健全な財政運営																																																																		
R3年度事業の概要	(単位：千円)				財源の内訳 (単位：千円)																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">一般必要経費</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費(講師謝礼)</td> <td></td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費(滞納整理・調査等旅費)</td> <td></td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費(消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料)</td> <td>560</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費(郵送料・預金照会手数料等)</td> <td>1,207</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料(弁護士委託料)</td> <td>294</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料(自動車借上料・高速料金)</td> <td>278</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保障、補填及び賠償金(裁判費用)</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,487</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				一般必要経費				報償費(講師謝礼)		40		旅費(滞納整理・調査等旅費)		60		需用費(消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料)	560			役務費(郵送料・預金照会手数料等)	1,207			委託料(弁護士委託料)	294			使用料及び賃借料(自動車借上料・高速料金)	278			負担金、補助及び交付金	40			保障、補填及び賠償金(裁判費用)	8			合計		2,487		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>分担金 負担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料 手数料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,267</td> </tr> <tr> <td>R3予算額</td> <td>2,487</td> </tr> <tr> <td>R2 当初予算額</td> <td>4,673</td> </tr> <tr> <td>R2 現計予算額</td> <td>4,673</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>▲ 2,186</td> </tr> </tbody> </table>		分担金 負担金		使用料 手数料		国費		県費		市債		その他	220	一般財源	2,267	R3予算額	2,487	R2 当初予算額	4,673	R2 現計予算額	4,673	増減額
一般必要経費																																																																			
報償費(講師謝礼)		40																																																																	
旅費(滞納整理・調査等旅費)		60																																																																	
需用費(消耗品費・燃料費・印刷製本費・修繕料)	560																																																																		
役務費(郵送料・預金照会手数料等)	1,207																																																																		
委託料(弁護士委託料)	294																																																																		
使用料及び賃借料(自動車借上料・高速料金)	278																																																																		
負担金、補助及び交付金	40																																																																		
保障、補填及び賠償金(裁判費用)	8																																																																		
合計		2,487																																																																	
分担金 負担金																																																																			
使用料 手数料																																																																			
国費																																																																			
県費																																																																			
市債																																																																			
その他	220																																																																		
一般財源	2,267																																																																		
R3予算額	2,487																																																																		
R2 当初予算額	4,673																																																																		
R2 現計予算額	4,673																																																																		
増減額	▲ 2,186																																																																		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<p>【市税徴収率(実績)】 H21年度88.01%→H22年度88.61%→H23年度90.23%→ H24年度91.08%→H25年度91.81%→H26年度92.74%→ H27年度94.11%→H28年度95.08%→H29年度95.64%→ H30年度95.74%→R元年度95.77%</p> <p>→R3年度以降、96%台(目標)の徴収率を目指す。</p> <p>【令和元年度滞納者分実績】 ○実態調査・財産調査を行い滞納者の預貯金 生命保険などの滞納処分を実施。 ・差押件数 46件 ・差押金額 23,046千円 ・換価充当額 1,995千円</p>																																																																		
事業のコスト	令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況																																																															
決算額又は決算見込額(千円)	3,498	2,857		滞納処分費 220千円																																																															
従事職員数【人工】	7.00	6.00																																																																	
人件費(人工×8,000千円)	56,000	48,000																																																																	
総事業費：人件費含む(千円)	59,498	50,857																																																																	
活動指標名	市税徴収率																																																																		
活動指標の算式	市税収入済額/市税調定額																																																																		
活動指標の実績(見込)	95.7	単位	%	95.8	単位	%																																																													
単位当たりコスト(円)	621,714		530,866																																																																
備考	<p>&lt;予算案重点事業&gt; 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進</p>																																																																		

事業区分	継続	事業名	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付事業				
所管課	市民課		(市民環境部)				
			宇陀市一般会計予算				
事業の目的	個人番号カードの公的個人認証部分を活用して、日本全国のコンビニ等の店舗内に設置しているキオスク端末を利用し、住民票謄・抄本、戸籍謄・抄本、印鑑登録証明書、戸籍の附票、住民票記載事項証明書を取得できる事業で、住民サービスの向上と窓口混雑の解消に繋げる。			区分	No.	区分名	
				款	2	総務費	
				項	3	戸籍住民基本台帳費	
				目	1	戸籍住民基本台帳費	
				事業	1	本庁戸籍住民基本台帳費	
根拠条例等	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認定業務に係る法律						
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上						
R3年度事業の概要	(単位：千円)			財源の内訳 (単位：千円)			
	内容	金額		分担金 負担金			
	旅費（デジタル手続法 戸籍附票記載事項追加 対応工程試験）	43		使用料 手数料	333		
	コンビニ交付取扱手数料	117		国 費			
	デジタル手続法に伴う戸籍附票記載事項追加対応 コンビニ交付システム保守料 (SEサポート)	1,914		県 費			
	コンビニ交付システムクラウド利用保守料	3,960		市 債			
	コンビニ交付証明書交付サービス運営負担金	2,219		その他			
	合 計	8,781		一般財源	8,448		
事業の 目標・成果 (これまでの成 果,今後の見通 し)	平成30年1月から開始したコンビニ交付サービスにより、 証明書発行に占めるコンビニ交付の比率は下記のとおり推 移している。						
	《証明書発行場所比率》 H30 1.49% H31 1.8% R1 2.66% R2上半期 2.91%						
	マイナンバーカード交付率上昇に伴い、住民の利便性向 上が図れる。						
	コンビニでの証明書発行枚数 H30 506枚 (市民課 480・税務課 26) R1 716枚 (市民課 687・税務課 29)						
	増減額	▲ 4					
事業のコスト		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額 (千円)		8,078	8,742		コンビニ交付手数料 333千円		
従事職員数【人工】		0.15	0.15				
人件費 (人工×8,000千円)		1,200	1,200				
総事業費：人件費含む (千円)		9,278	9,942				
活動指標名		コンビニ交付 証明書発行数					
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		716	単位	件	840	単位	件
単位当たりコスト (円)		12,958		11,836		備考	<予算案重点事業> 【重点事業】 6.地域力を発揮するまち 2.健全な行政運営の推進

事業区分	継続	事業名	マイナンバーカード普及拡大事業																																							
所管課	市民課 (市民環境部)		宇陀市一般会計予算																																							
事業の目的	マイナンバー制度における個人番号カードの交付事務を通じて社会保障・税制度の効率化・透明性を高め、公正公平な社会を実現する。また、デジタル社会の実現に向け、令和4年度末までにほぼ全国民に行き渡ることを目指し、マイナンバーカードの普及拡大を進める。		区分	No.	区分名																																					
			款	2	総務費																																					
			項	3	戸籍住民基本台帳費																																					
			目	1	戸籍住民基本台帳費																																					
事業	1	本庁戸籍住民基本台帳費																																								
根拠条例等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定する個人番号、個人番号カード、特定個人情報の提供等に関する省令																																									
総合計画	基本計画 6-2-1 行政サービスの向上																																									
R3年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人番号カード臨時窓口会計年度任用職員報酬(人事課計上)</td> <td>10,277</td> </tr> <tr> <td>個人番号カード交付郵送料</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>個人番号カード券面記載機</td> <td>1,149</td> </tr> <tr> <td>個人番号カード発行等事務委任に係る交付金</td> <td>10,748</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22,370</td> </tr> </tbody> </table>		内容	金額 (千円)	個人番号カード臨時窓口会計年度任用職員報酬(人事課計上)	10,277	個人番号カード交付郵送料	156	個人番号カード券面記載機	1,149	個人番号カード発行等事務委任に係る交付金	10,748	その他	40	合計	22,370	<b>財源の内訳 (単位：千円)</b> <table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金負担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料手数料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>22,370</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>R3予算額</td><td>22,370</td></tr> <tr><td>R2当初予算額</td><td>18,243</td></tr> <tr><td>R2現計予算額</td><td>21,925</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>4,127</td></tr> </tbody> </table>				分担金負担金		使用料手数料		国費	22,370	県費		市債		その他		一般財源		R3予算額	22,370	R2当初予算額	18,243	R2現計予算額	21,925	増減額	4,127
	内容	金額 (千円)																																								
個人番号カード臨時窓口会計年度任用職員報酬(人事課計上)	10,277																																									
個人番号カード交付郵送料	156																																									
個人番号カード券面記載機	1,149																																									
個人番号カード発行等事務委任に係る交付金	10,748																																									
その他	40																																									
合計	22,370																																									
分担金負担金																																										
使用料手数料																																										
国費	22,370																																									
県費																																										
市債																																										
その他																																										
一般財源																																										
R3予算額	22,370																																									
R2当初予算額	18,243																																									
R2現計予算額	21,925																																									
増減額	4,127																																									
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	<p>令和5年3月に交付枚数率100%をめざし、臨時窓口の設置、休日開庁等によりマイナンバーカードの申請、交付を推進。</p> <p>交付枚数・交付枚数率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2 (R3年1月末まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枚数</td> <td>691枚</td> <td>612枚</td> <td>1,060枚</td> <td>2,427枚</td> </tr> <tr> <td>率</td> <td>10.77%</td> <td>12.91%</td> <td>16.70%</td> <td>25.25%</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	R元	R2 (R3年1月末まで)	枚数	691枚	612枚	1,060枚	2,427枚	率	10.77%	12.91%	16.70%	25.25%																						
	H29	H30	R元	R2 (R3年1月末まで)																																						
枚数	691枚	612枚	1,060枚	2,427枚																																						
率	10.77%	12.91%	16.70%	25.25%																																						
<b>事業のコスト</b>		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)																																							
決算額又は決算見込額 (千円)		4,222	21,925																																							
従事職員数【人工】		1.00	1.25																																							
人件費 (人工×8,000千円)		8,000	10,000																																							
総事業費：人件費含む (千円)		12,222	31,925																																							
活動指標名		マイナンバーカード交付枚数																																								
活動指標の算式		事業費／交付枚数																																								
活動指標の実績(見込)		1,004	単位	枚	4,000																																					
単位当たりコスト (円)		12,173	単位	枚	7,981																																					
		<b>特定財源の状況</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>国・個人番号カード交付事業費補助金</td> <td>10,748千円</td> </tr> <tr> <td>国・個人番号カード交付事務費補助金</td> <td>11,622千円</td> </tr> </tbody> </table>				国・個人番号カード交付事業費補助金	10,748千円	国・個人番号カード交付事務費補助金	11,622千円																																	
国・個人番号カード交付事業費補助金	10,748千円																																									
国・個人番号カード交付事務費補助金	11,622千円																																									
備考		<予算案重点事業> 【重点事業】 6. 地域力を発揮するまち 2. 健全な行政運営の推進																																								

事業区分	新規	事業名	市庁舎内における指定金融機関派出窓口事業			
所管課	財政課		(企画財政部)			
<b>事業の目的</b> 地方自治法第235条に基づき、公金取扱いの迅速化、公金取扱いに関する事故の防止等を目的に指定金融機関を指定しており、市庁舎への指定金融機関から行員等の派出による収納事務を取扱ってもらうことで、適正な公金取扱いの確保を図る。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	2	総務費	
			項	1	総務管理費	
			目	1	一般管理費	
事業	1	本庁一般管理費				
根拠条例等	宇陀市指定金融機関事務取扱いに関する契約書・派出に関する協定書					
総合計画	基本計画 6-2-2 効率的な業務運営体制の構築					
R3年度事業の概要	市庁舎内派出窓口取扱時間 9:00~12:00 (令和2年度までは、9:00~12:00、13:00~15:00) * 12:00以降は、出納室において収納事務を実施			<b>財源の内訳 (単位：千円)</b>		
	<b>事業の目標・成果</b> (これまでの成果, 今後の見通し) 市庁舎内における指定金融機関派出窓口による適正な公金取扱いの確保を図るとともに、住民サービスの維持を図ることができる。			分担金負担金 使用料手数料 国費 県費 市債 その他 一般財源 2,200 R3予算額 2,200 R2当初予算額 R2現計予算額 増減額 2,200		
<b>事業のコスト</b>		令和元年度(実績)	令和2年度(見込)		<b>特定財源の状況</b>          <b>備考</b>	
決算額又は決算見込額 (千円)						
従事職員数【人工】						
人件費 (人工×8,000千円)						
総事業費：人件費含む (千円)						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)			単位			
単位当たりコスト (円)						